

モニターレポート(6月報告)

【報告内容①】

地元の方からの情報で、明治から昭和の前半にかけて、「コーレンボウ」という、阿賀野川で取れた砂利を新潟の下流に運んでいた珍しい大型貨物船があったそうです。最も多い時には300隻ほど存在し、能代川の上流の秋葉山で取れる原油を運ぶ船が3～4隻あったそうです。

〈事務所からのコメント〉

「コーレンボウ」のお話を頂き、改めて調べてみたところ、阿賀野川や信濃川で普通に見かけていた「砂利船」が、全国的には大変珍しい船であったことを初めて知りました。現在でもコーレンボウを修理している造船所があるようで、こうした阿賀野川の歴史を感じることでできる文化は、後世に残していって欲しいと思っています。

【報告内容②】

秋葉区(旧新津市)に生まれ育ち、幼い頃から親や祖父母から河川の氾濫、洪水の話を聞いて育ちましたが、今の子供達は、大雨が続いても川が氾濫するという体験をした事はありません。河川愛護モニターをすることで、河川事務所の方々や県、区の方々の苦労や地道な努力に気付かせて頂きました。

これからも、住民の皆様が河川と関わる時間が増えるよう、遊歩道や公園の整備にご尽力くださることを願っています。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川は水量が豊富であり、流域には生物も多く豊かな自然を誇っています。これからもこの大切な水環境を保っていけるように、整備していきたいと思っています。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

頭首工～渡場床固は堤防工事も進んで、草刈りも行われており、1年前と比べてとてもきれいに見えます。大和水辺の楽校について。1年前に枯木の伐採の提案をし、今回伐採してあり、きれいで安全な公園になり安心しました。

今回、モニターに参加しなければ知り得なかった沢山のことがありました。とても有意義な1年でした。

〈事務所からのコメント〉

1年間モニターとして活動していただき、本当にありがとうございました。モニターとして報告していただいたたくさんの事柄、意見等を今後の河川の整備に活かしていければと考えています。

【報告内容④】

6月14日に早出川太川橋を中心にして、清掃活動が行われました。清掃された公園が沢山利用されて、喜ばれています。

桑山地区右岸堤防下部に蛇カゴが積んでありますが、どうしてですか？

阿賀野川下流部で、地震対策として矢板工法で補強する方法がされていますが、上流部の旧河跡上の現在堤防を補強することで、洪水時の漏水防止になるのでは？

〈事務所からのコメント〉

早出川の清掃活動について、協力いただいた関係機関、参加者の皆様には心より感謝致します。

質問についてですが、蛇カゴについては、堤防の安全性が不足している箇所浸透対策として実施しています。

矢板工法については、地震対策と同様に、旧河道跡や堤防下地盤に漏水がみられる場合の対策として採用している箇所もあります。

※複数のモニター報告を要約してあります。